

第1号
商女 工性

あきた

秋田県商工会議所女性会連合会

女性会 会報

発行所

秋田市旭北錦町1-47
秋田県商工会議所女性会連合会
TEL 018-863-4141
編集発行人 船木孝子



ごあいさつ

秋田県商工会議所女性会連合会

会長 船木 孝子

「婦人会」から「女性会」へ、全国的に改名された平成十三年度に、秋田

県商工会議所女性会連合会の会報第一号を発行出来ますことは、誠に意義深く思います。

思い起こせば、婦人会を連合会とする気運は以前から会議所側でお持ちでしたが、秋田では昭和四十八年に初めて合同懇談会として開催し、秋田県婦連となったのは、昭和六十年、伊藤会長（現秋田女性会顧問）のもと横手市で開催されたのが始まりでした。

現在は、県内六女性会で全国大会、東北大会参加を始め、各地域単会での活動、そして今年度から、年四回開催の研修会は、県内の単会持ち回り制となり、地域を訪問して交流会と研鑽を重ねております。

また、今年度の大行事、東北六県連女性会総会は、秋田県民会館で七月十二日、約六百五十名の参加で無事好評

を頂き終了致しました。

会場周辺の歴史ある景観、雨天のため中止となりましたが話題にはなった竿燈、良い品だけを集めた銘品お土産コーナー、秋田の文化レベルの高さを再認識して頂けたことと思います。そして、なにより圧巻だったのは、アトラクションのフラダンス・大文字踊りでした。改めて秋田県人の「やる時は、やる」精神に頼もしさを覚えました。

平成六年度から開催の「全国小学生環境・ゴミ問題、作文絵画コンクール」は、今年度初めて県女連でまとめて審査、表彰をし、多数の応募を得て道が開けてきたように思えます。

また、先般二月二十六日、東京商工会館で開催された全国会長で組織される理事会に於いては、新規事業として女性創業者支援セミナー開催の案が検討され、活動計画の状況も変化の傾向です。

二十一世紀に入り、日本は今、大きな岐路に立っております。経済改革、行財政改革、地球環境問題、少子高齢化社会など、未だ経験したことのない重要課題が大きいのかかっております。秋田県などの地方地域社会への不況の波の大きさは計り知れません。

しかし、厳しい世相の今こそ、女性の感性や積極性に期待が寄せられます。皆で知恵を結集し努力して、秋田県に活気を取り戻すしか道はありません。会員皆様の更なるご協力により、会報の内容も今後益々充実したものとなりますよう望みごあいさつと致します。



＊環境・ゴミ問題＊ 小学生作文、絵画コンクール

昨年までは、秋田女性会のみ事業であったが、今年から県女連として初めての実施。

また、今年はワールドゲームズの開催により、多くの小学生がボランティアとして参加したため、冬休み期間の実施となった。

秋田市以外では、初めての事業となるため、「PRにかなり時間がかかるのでは」と懸念されたが、会員が直接学校に依頼に行くなどの積極的な活動で、予想を上回る出展があった。

◇絵画197点◇作文84点

審査会では、各単会の会長と国画会会員の秋田大学の佐々木教授を審査委員とし、厳選なる審査のうえ、今年から県女連で独自に設けた知事、市長賞等、二十一賞を選定した。受賞者は次の通り。

【絵画の部】

◇知事賞

清水川和貴(秋田土崎南小三年)

◇市長賞

◇秋田市

岡崎早紀(秋田川尻小五年)

◇大館市

白根直佳(大館有浦小五年)

◇能代市

原田瑠衣(能代第四小四年)

◇大曲市

佐々木廉(大曲小二年)

◇横手市

鎌田みなみ(横手南小四年)

◇湯沢市

長塚大騎(湯沢山田小五年)

◇商工会議所会頭賞

◇秋田

平元晴菜(秋田築山小四年)

◇大館

佐藤紀子(秋田築山小四年)

◇能代

山岡健吾(秋田下浜小三年)

◇大曲

千葉彰広(大曲花館小五年)

◇横手

小又拓(大曲四ツ屋小五年)

◇湯沢

丹 千春(湯沢山田小五年)

【作文の部】

◇秋田県商工会議所連合会会長賞

田中謙一(秋田川尻小五年)

◇秋田県商工会議所女性会連合会会長賞

古木静香(秋田上新城小五年)

◇商工会議所女性会会長賞



4月1日、2日秋田駅ボロボードにて展示会開催!! 優秀作品をこの機会に是非ご覧ください

◇秋田

菅原桃子(秋田川尻小五年)

◇大館

大坂真衣子(横手南小四年)

◇能代

児玉智絵美(湯沢岩崎小六年)

◇大曲

竹村芳乃香(大曲小四年)

◇横手

藤井南(横手南小四年)

◇湯沢

門田菜摘(湯沢山田小五年)

秋田 だより

お陰様で四十周年

創立四十周年式典

秋田県商工会議所女性会創立四十周年記念式典が、六月七日アキタニューグランドホテルにおいて開催され、県内女性会会員六十名が参加した。開会にあたり伊藤顧問より、「皆様と創立四十周年を迎えることができて感激している。それぞれ仕事は違っても、これまで互いにアイディアを出し合ったり、励まし合ったり、心の支えとなってきたと言える。また、今年は東北大会が秋田で開催される。秋田の女性のパワーを発揮して大会を成功させたい。」とのこと祝辞に続き、秋田県商工会議所連合会副会長より、「昭和三十六年に設立されてから今日まで、商工業の発展、積極的な提言活動を通じて地域の振興・発展に大きく貢献されたご功績は、誠に大きなものがあります。今後ともこれまでの四十年間にわたる豊富な経験と実績を活かし、さらにご活躍されることをご祈念いたします。」と祝辞を頂戴した。

その後の記念講演では、秋田経済法科大学短期大学部教授田中玲子氏より「いつまでも美しく若々しく」と題して講演いただいた。

テレビ・ラジオでも活躍中の田中氏



昭和50年より会長を9期務めた伊藤顧問のあいさつ

年末福祉事業 歳末助け合い運動

ご協力ありがとうございました!

皆様のご協力は

・老人ホームへ	
寄附	39,327円
寄贈	114点
・NHKへ	
寄附	20,000円

恒例の歳末助け合い運動を実施。今年は経費老人ホーム「だいせん」とNHKへの寄附となった。

「だいせん」は、A型(食事付。自炊施設はB型)の老人

ホームで、現在は全五十室が満室の状態。住宅地にあるため、交通の便も良く、クラブ活動・地域活動が盛んな施設であった。

同施設の佐々木相談役より、「消耗品の寄贈はとても助かっている。このような機会に、皆さんの住むご近所にもこうした施設があることを多くの方に知ってもらいたい。」とのお礼の言葉を頂戴した。



老人ホーム「だいせん」へ寄附

定 時 総 会

秋田女性会定時総会は四月十四日開催。議事である収支決算・予算等は原案どおり承認された。

役員改選の年であったが、東北六女連総会秋田大会を控えているため、現状のまま任期を一期延ばすこととなった。

その他、「婦人会」から「女性会」への名称変更と十六年

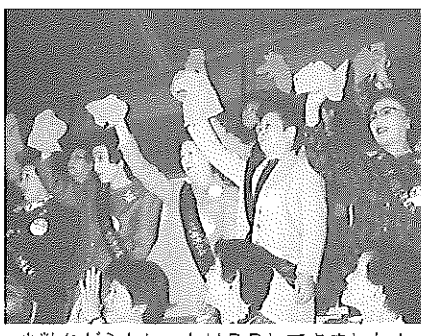
全女連総会

岐 阜 大 会

経営講習会

全国商工会議所女性会連合会総会は、十一月二十一日岐阜メモリアルセンターで、三百九十九女性会、三千四百名の参加で開催された。

初めに小泉会長から「女性会と名称変更して初の総会となりました。今後は女性会



少数ながらもしっかりPRしてきました！

創業支援、仕事と子育ての両立支援の二つの新たな課題に取り組んでまいります。私達ひとりひとりの活躍が地域を変え、そしてその連帯が社会を変えます。どんな困難にも背を向けることなく、ともに手を携えて進んでまいりますよう。」とあいさつされた。

総会終了後、和泉流二十世宗家和泉元彌氏による記念講演が行われ、大いに盛り上がり

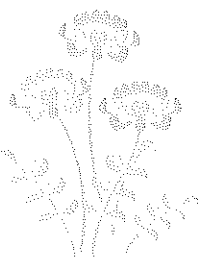


講師の和泉氏 三姉弟による共演



定時総会の様子

間措置であった会費の値上げが決定された。引き続き広く会員募集！



県女連として初めて、県内六女性会合同の講習会を開催。第一回は、㈱三浦商事社長三浦廣巳氏(兼秋田日産自動車㈱代表)から



三浦氏

ご講演いただいた。

昨年八月に開催した「ワールドゲームズ」の組織委員会事務総長として延べ七年間大会に携わった三浦氏。「大会は予想を上回る協力により大成功に終わった。これを機に世界中に秋田の良さを知ってもらいたい。」と述べられた。

二回目は、初めての秋田市以外の横手市で開催。

講師は横手市収入役(前阿桜酒造㈱代表)石川耿一氏。「まちづくりによる地域活性化」と題してご講演いただいた。講演終了後、酒蔵の視察と試飲をさせていただいた。

三回目は、湯沢市での開催。



湯沢ドレメ

小川氏 専門学校校長 小長小川ひさ子氏より

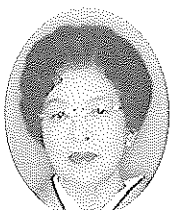
「ウェディングベルがもたらしたもの」と題して、国際結婚で同市へ来た外国人を対象に

した「日本語教室」の開催や、里帰りの援助等の活動についてご講演いただいた。講演終了後は、商店街視察を行った。次回は秋田市にて、浅草おかみさん会理事の富永照子氏を講師に迎え開催予定。



石川氏から酒蔵の説明を聞く会員

受 章



金澤啓子様

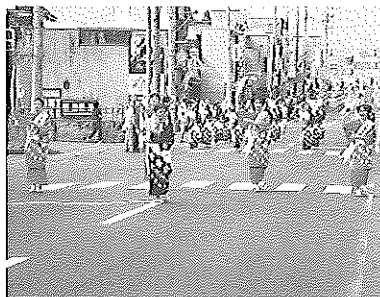
会員の金澤啓子さま(㈱ダイナミックサニート会長)がこのたび勲五等瑞宝章を受章されました。おめでとうございます。

大館だより

大文字 おどりで達成感

八月十六日の「大文字おどり」には昨年初めて参加させていただきました。位置取りが「観光レディ」に続く各団体の最前列という事で緊張もしましたが、本番の時は思ったほどもなく皆さんと歩調を合わせて踊ることができました。

当日は暑さも最高潮の時間帯でいろいろ大変でしたが、あらためて今年も続けてこられた執行部の方々のご苦勞を身にしみて感じました。御成町から新町までの長い距



大文字おどりに毎年参加している女性会メンバー(観光レディの後ろ)

離を皆さんと楽しく疲れも感じることもなく踊ることができました。

二十一世紀に入り婦人会から女性会へと名称も変更され大館を代表する最大の行事



ような気分でした。当時の鉾山の様子、日本最古の芝居小屋(舞台裏まで見学)、どこもモダンな洋風づくり、屋敷も明治のたたずまいの中で美味しくいただきました。どれも見て実感の一日でした。

秋田コミュニケーション(株) 斎藤 勇 子



明治時代の薫り漂う小坂鉾山事務所

「大文字おどり」を、今後ますます盛大に盛り上げて行く事に皆さんと協力していきたいと思っています。

小池 賢(株)

小池 和 子

ふわふわの白い羽と白い藤の台に木の実の飾り、真っ赤なチェックのリボンがシャレたリース。センスがよい!! 小学校の工作の時間にタイムスリップ? 得意げな人、となりの人を見ながら不安そうに作



講師の野田さん(会員)がやさしく手ほどき

っている人、工作の時間こんな感じだったナ。皆嬉しそうに目を輝かせ集中している。短時間でやりくり出来るのは商売で磨かれたさすが縁の下の力もち。袖すり合うも... 女性会の皆様に巡り会えまして勉強にもなり元氣も頂き感謝で一杯です。これからも宜しくお願い致します。

中澤工務店

中澤 和 子

女性の二級建築士が講演 恒例の新春講演会を開催 十四年度新年会

いつもながら新年会は心改まるものですが、本年度は、一月十六日、北秋くらぶにて会員多数のご出席のもと行われました。新春講演会は、平成七年度、十二年度に県主催「秋田の住宅コンクール」で最優秀賞を受賞された、「創作工房・うるるん舎」代表谷川原郁子氏をお招きし「女性の特性を生かし、樂しめる生活空間を提案します」というテーマでお話しして頂きました。女性の気配りが仕事や生活に潤いと高揚感を与え又活路を生むと納得させられました。祝舞、大正琴の合奏、ゲーム等を楽しみ盛会に終わりました。

(株)金澤家具店

金澤 マサ子



樂しめる住環境をトータル的に提案するという谷川原さんが作品をOHPで紹介

すごい煙!と思ったが実は水蒸気とわかり安心



あの煙は 水蒸気だった! リサイクルを見学

二十一世紀の地球と社会のために自分を取りまく環境問題ほど重要なことはないと感じているこの頃、機会があり

ものすごい煙が!!と思ったが全て処理された後のきれいな水蒸気との事、驚いたり、あんどしたりのひとこまでした。その後、古き良き時代の歴史のある小坂町にて、郷土館、小坂鉾山事務所、康楽館と明治時代にタイムスリップした

横手 だより

夏まつり チャリテイ バザール

送り盆まつり恒例のチャリテイバザールの時がやってまいりました。

当日午前中からの準備はさながら露店の人達にひけをとらない程、スムーズに取り進められました。一番大事なテントは、会員である建設業の方がご協力下さり、いつも乍ら頭の下がる思いです。バザールの方も徐々に賑わいをみせ、やがて夕暮れと成りライトの灯りが目立つようになり、一変して屋外レストラン(?)が活気づいてまいりました。満点の星のもと、「横手ヤキソバ」「玉コン」「ト



ン汁」「氷」「エダマメ」他、我が屋外レストランの定番メニューは、相変わらず人気があります。

「冷えた生ビール、ヤキソバ」「等と、張りあげた声が、皆若々しく聞こえる。いや、何故か若々しいのです。「家になだつてこんなに動かないのになあ」——ワイワイ、ガヤガヤ、

経営講習会

十二月五日県連女性会経営講習会を、横手で開催いたしました。厳寒の中にも青空が広がり、遠くは大館、秋田の皆様、そして県南大曲湯沢の皆様には沢山の御参加ありがとうございました。我が横手の講師石川氏は、酒造会社前取締役、そして現在横手市の収入役でございます。

幅広い視点からのお話を楽しく聞く事ができました。その中から今全国で空洞化という言葉が流行語にまでなつてしまいました。もちろん我が横手市もまっただ中におります。石川氏講演の内容「まちづくりによる地域活性化について」で——心安らぐ潤いのまち、よこてを夢みて。まちにかかせないものはなに

皆の瞳は、まるで二十代そのものでした。

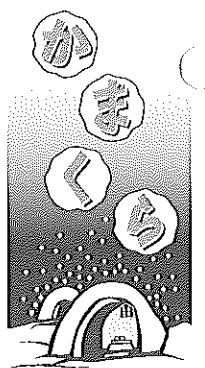
花火の音が腹の底迄響き、おもわずテントの外へ跳び出すと、花火は消えけむりだけが漂っていました。暑かった夏も、送り盆が過ぎると、もう秋です。又来年に向かい、頑張ろうと存じます。関係者の皆様、会員の皆様ありがとうございました。

だろうか！

できることをできる範囲で合わせよう力を！

価値観、危機感のだらしない生ゴミを自然の堆肥に！

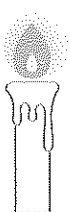
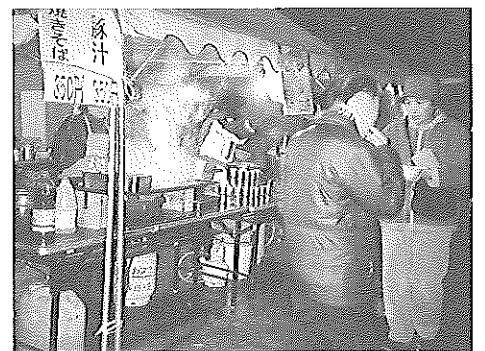
氷室。市農工商。子供一〇番。等々いろいろ考えさせられる言葉が飛び交いました。今すぐ出来る事、時間をかけなければ出来ない事。まさに考えさせられる事ばかりです。我が町が光り輝きだすことを目指して、私達はがんばっていきます。



「はいってたんせ」「あがつてたんせ」かまくらと言えは横手、横手と言えはかまくらと言われる位有名になった小正月の行事です。昭和二十年代中頃までは各家々にかまくらがつくられ子供達が中に入っておまじりにくする友達や大人達に「おがんでたんせ」と声をかけたものです。その時のお寶銭が又楽しみでもありました。しだいに交通量も増え道路にかまくらをつくるのも難しくなり空地等を求めてつくられるようになりました。それと並行するように市では観光の目玉として売り出すようになり、日本だけでなく外国にも知られるようになりました。年々観光客も増え郷土の特産品を売る屋台もできるようになりました。私達女性会も観光客のおもてなしとチャリテイを兼ねて三年前から出店することになりました。今年のメニューは、うどん、そば、豚汁、やきそば等です。寒い冬に温かいものは好評です。テントの設営や机・椅子の運搬等、私達女性だけでは無理な仕事は会議所の職員、会員の御主人等に助けられ作業は順調に進

みました。豚汁、うどん、そばのタレの仕込みも会員力を合わせて一生懸命です。

かまくらに灯も点り人出も多くなつてきたころ会員の美声につられてお客様もしだいに多くなり手を休める間もない程です。寒さなんかどっかへ行つてしまいました。お客様の「おいしかった」との言葉がうれしく会員の顔もほころびます。昨年大々的に売り出しを始めた「横手やきそば」も観光客だけでなく地元の人達にも喜んでいただいたのはよかったと思います。夜もしだいにふけ人出も少なくなつたころ会員の顔は大きな仕事をした充実感に疲れも忘れて後片付けに精を出しておりました。本当に御苦労様でした。



湯沢だより

フラダンスで交流の輪
夕涼み会に出演
サングリーンゆざわにて

東北六県女性会総会秋田大会懇親会で披露するために、県南女性会を主体にフラダンスのレッスンを重ね会場ではしやかに華やかに情熱的にとこ夏のハワイさながらに、お客様を魅了いたしました。練習はたいへんでしたが、とても楽しい時間でした。

これで終わらせたくないと思つていたところ、特別養護老人ホーム、サングリーンゆざわの夕涼み会に出演依頼が参りました。待つていましたとばかり喜んで、会員で練習にはげみました。アンコールが出るほどに、楽しんでいただきました。また私達も良い思い出が出来ました。秋田大会のおかげと感謝しております。



南国気分のフラダンスを披露した夕涼み会

来てたんせ！見てたんせ！遊んでたんせ！



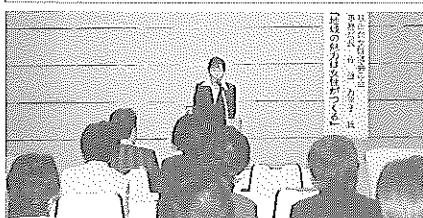
来てたんせ！見てたんせ！
買つてたんせ！遊んでたんせ！
第五回たんせ市は商工会議所親会と湯沢市商工観光課が主催して年二回行われます。主会場の商店街は車輜通行止めとし、餅まき、路上パフォー

マンスとして、踊り。太鼓、小学校バンド演奏。新鮮野菜の超特価「得とく市」がありまし。町の駅、市民プラザ内ではチビッコ大集合！お楽しみ映画上映会、湯沢のPRコーナーではおいしい力水コーヒーマービス、湯沢の銘酒試飲サービス等々、もり沢山。私達は会員一人三点以上の持ち寄りでフリーマーケットを出店しました。ブランド物生活用品、反物、衣類、化粧品、食品がいっぱい。毎回ですが今年も大好評で、開店一時間程で完売しました。その収益金の一部を市内の施設「かさぐるま」に寄附をしました。

郡市の商工女性会が交流会

私達女性会は商工会議所に移行する前は商工女部人部でした。湯沢雄勝郡内は六市町村あり、六部会の女性会がもちまわりで年一回の交流会を行つております。今年度は私達が企画いたしました。四十名の参加があり、講演会は秋田県女性議会の会事務局長佐藤万里子氏にお願いしました。「地域の魅力は女性がつくる」と題して、秋田魁新報社に入社し女性初の文化部記者として男性優先の社会での苦勞を重ねての体験談から、これからは女性も積極的に意識改革し地域社会で行動する事が大切で男性も女性もお互いが良いパートナーシップを確立する事が大事ではないかと述べた。その後の懇親会はフラダンスや歌で楽しく交流を深めました。

プロフィール 昭和30年横手市生まれ。50年に魁に入社、57年に退社。羽後町在住で先生は希望して農家の嫁となり女性と地域のために活躍されております。



男女共同参画社会について講演

今年度事業の総括に向けて懇談～新年祝賀会～

新年祝賀会を1月18日に開催いたしました。例年は青年部・同OB会と合同で行っていましたが単独でと会員からの希望で今年は女性だけで懇親しました。この後の全県の女性会が参集して開催される経営講習会の湯沢開催を成功させようと和やかに話が弾みました。今年も良い年でありますようにと願い歌を唄い日頃のつかれをわらいでいきました。

犬っこまつり、立食いそばコーナーでは二千食販売いたしました。女性会のそばコーナーは二十年の歴史老舗で、すっかり定着し、中には毎年立ち寄ってくれるお得意様もいます。犬っこそばとてんぷらそば、月見そば、かけそばのメニューです。犬っこそばって？と聞くお客様には天ぷらとたまごですと答えると「それください」と注文がきます。安くておいしいそばは大好評です。皆様にも何時かご賞味頂きたいと思ひます。



好評、女性会のそばコーナー

湯沢に参集！経営講習会

県女連経

営講習会は五十二名の参加をいただき、船木会長のおいさつがあり講演には湯沢ドレメ専門学校長小川ひさ子先生から「ウェディングベルがもたらしたものの」をテーマに「フイリピンからの贈り物」を拝聴いたしました。その後は「株式会社TMOゆざわ」の資料にある中心市街地の見学をしていただきました。悪天候のところ湯沢にいらして頂き大変ありがとうございました。次の研修は湯沢の自然と温泉めぐりを予定しご案内させていただきます。



国際交流について講演

全県酒屋唄披露会PR

湯沢は雪が多いですが、水がおいしく東北の灘と言われる酒造業がさかんです。それにちなみ酒づくりにまつわる話題を全国に情報発信、「第十三回全国酒屋唄競演会」を親会が主催し行われました。本県出身の斉藤京子さんや民謡会の重鎮浅野梅若さん、地元の民謡や全国の酒屋唄を中心にファン九百五十人が新春のステージに聴きほれました。

大曲だより

新しい絆

小原 恵美子

寒さが少しずつゆるみ日ざしの中に春の息吹きを感じられるこの頃です。

商工会から商工会議所に移行したのは平成九年四月でした。以来五年が過ぎようとしていますが、商工会の頃とは違い、交流する地域も広がりある種の緊張と新しい出会いに今迄にない

大曲女性会研修旅行

高柳 克子

昨年十月、毎年恒例の「研修旅行」が十五名の参加で行われました。

この日の為に希望者が毎月の積立で、あまり負担を感じる事なく出かけられます。行先は川越と東京の一泊旅行でした。



川越は「喜多院」で江戸時代の歴史にふれ、「蔵作り」の家並「菓子屋横丁」では、昔の家並を残し

刺激を受けました。色んな会合や勉強会で各地へ伺いますが、それぞれの地域の特性を生かしての企画運営にはとても勉強させられます。会議所に移行してから特に印象に残る事と言えば秋田市で開催された東北大会総会でした。実行委員の一人として何度も委員会に出席しているうちに、各地区の状況やメンバーのお人柄にもふれ気持ちよく協力が出来た会々員共々少しは責任を果たせた様な気が致します。

私共会員六十九名で運営して

つつ色々なおみやげ品に工夫をこらし、観光に力を入れている町の姿を見学しました。

その後バスで一路東京へ。東京では夜のはとバス遊覧です。踊りと笑いの楽しいショーを見、夕食は帝国ホテルでのリッチなバイキングで幸せを味わいました。

次の日は、森光子さんの七才を過ぎたとは思えない、みずみずしい芝居に感動させられました。

盛り沢山の日程でしたが、それぞれに明日の英気を養い、又会員相互の距離もグンと近くなり、とても有意義な旅行でした。今年もより多くの参加者を期待したいと思います。

いますが参加会員が限られて居りどの様にしたら参加意力を起こす魅力ある会になるかが大きな課題です。各地区の活動等大いに参考にさせて頂いた



秋まつり

渡辺 亮子

「産業と文化。秋のみのりを一堂に」をテーマに第十八回大曲市秋まつりが十月二十七日、二十八日の二日間行われました。秋晴れの初日、午前九時三十分から市役所駐車場で、開会式



が行われ、その後幼稚園児による歌と、大曲小学校のマーチングドリルが、オーブニングに花をそえました。

新年会に参加して

伊藤 智子

一月十五日恒例の大曲商工会議所女性会新年会が大曲エンパイアホテルで高柳会頭、大曲市長を来賓に迎え盛大に開催されました。

婦人会が女性会と名称が改められ、会の歌の歌詞も従来の婦人会を女性会と歌い上げ、男女平等参加社会の認識を新たに致しました。今年は例年とは少し趣向を変えて、プログラムに「ジャンソンショー」を取り入れ会を盛り上げました。

現在の世相に呑み込まれず、地域社会の特性を生かして、今の不況を乗り切りましょうとの高柳会頭の挨拶に始まり高橋市長からはこれからの市制の状況等今一番大きな課題である市町村合併の進捗状況等耳からの情報として身近に拝聴する事が出

園民体育館では、知って得するコーナー、「高齢者看護・介護相談室」や「守ろう私達の環境」など身近な問題に関するコーナーが設けられ会場を訪れる人達でにぎわいました。又市内商店の店も設けられ、私達女性会も出店し二日間をいろいろな人達とのコミュニケーションができました。

来ました。

引き続きなごやかな会食と共に、ビンゴゲームを楽しみ、その後お待ちかねの「新春ジャンソンショー」に移りました。歌の手は、小原会長の友人で、教職を定年退職後に趣味として始められ、今では全国規模の各種コンクールに参加されて賞を取っておられる方で秋田市在住の浅野弘子さんという方でした。大変前向きに退職後の生活を過ごされておられる方で、自己紹介を聞いて、私達も大いに啓発された様な気が致します。なじみのある曲や、はじめて聞く曲等十曲程楽しみました。ビンゴゲームの賞品を手には、胸には明日からの元気をいただいたて帰りました。



武道館では、農業展や、米消費拡大事業による試食会、市役所駐車場では、農産物フェアなどが行われ多くの人でにぎわっていました。新しいイベントとして、二十七日、四年生以上の市内小学生を対象にした「鮭のつかみどり」が丸子橋橋上公園で行われ、子供たちも参加できた楽しい秋まつりでした。

能代だより

◇会長あいさつ◇

二年の任期も残り僅かとなりました。心の準備もなく、突然会長となり不安な気持ちでいっぱいでしたが、会員の皆様からのご指導ご助言ご協力のおかげで、ここまで無事にすることが出来ました。心から感謝申し上げます。

今年度は、十和田へのレクリエーション、秋田市で開催された東北大会、みなとまつりでのバザー、能代観光七夕への参加、テーブルマナー、講演会、全国大会などいろいろな事業がありました。その中でも、みなとまつりでのバザーは、会員が持ち寄った品物を廉価で販売し、その収益金で毎年参加している能代観光七夕の時に着る浴衣の帯、草履、足袋等購入できました。これでいくらかでも七夕参加者の負担を少なくできたのではないかと思います。

最後に、より一層会の充実を図り、多に女性のパワーを発揮し明るい社会を作って行きましよう。
(山木亮子)



日本舞踊習会の方と一緒に参加した観光七夕

お杉音頭を踊って



皆さん、マスターするのが早いワ!!

へハアアサアリヤサノサ
杉は秋田が三国一よ
わしのあなたは日本一

(お雛・略)
篠流しは米代川よ

杉の上丸(太)

杉の上丸(太)

杉の上丸(太) 五百万(石)

「商の心」を学ぶ

福井県小浜市の箸製造販売会社「箸匠せいわ」社長、木越和夫さんの「儲かるという字の中に商いの心がある」と題する講演会を十一月二日に開催。

木越さんは徹底した、お客様優先主義と社員教育で急成長。その後、子供の箸使いの乱れを憂い「六角知能箸」を開発。「景気が悪く」皆、四

中略

作詩 音羽 時雨
作曲 中山 晋平

唄 小唄勝太郎

へ踊り〜チョチョンがチョンひとさしふたさし ひらいてチョン、流して〜後戻り、一二三、ときて、チョチョンがチョン、へ

能代の人でも、今はほとんど知らないこの唄、能代がかつて木材都市で隆盛を極めていた頃、島田姿の芸者が大勢いて、お座敷で踊ったのだそうです。

元芸者さん達から特別指導で、旦那衆になったようなお座敷の例会。こんな活気のある能代に戻りたい!

(綿貫二子)



木越社長さんのお話に目を輝かせて聴講

角が売れている。中小企業

新年祝賀会

一月二十四日プラザ都に於いて、御来賓の方々を含め二十名の参加を得て開催されました。初めに女性会の歌を全員で斉唱し、山木会頭の新年の挨拶、鈴木会頭の御祝辞をいただきました。



汗だく、必死、楽しかった

長岡専務の乾杯で祝宴に入りました。各テーブルごとに新年のあいさつ、今年の抱負など元気あいに、楽しいお話に花を咲かせていました。続いて、「能代べらぼう太鼓」の迫力ある演奏でしばし幻想的な世界へ。国内外で広く活躍している二人の先生方の演奏は外の雪をも消してしまいう程の熱気でした。

会員も太鼓を打たせてもらい、「実際にやってみるとむずかしいネ」と言いながらも喜んで打っていました。

次はカラオケタイムに入り最後は輪になって「おすぎ音頭」を全員で踊り、今年一年の親睦を深めました。

(山口千穂子)

フォト紹介



テーブルマナー ちょっぴり緊張きみ



十和田ヘレクリエーション